

阿賀野市租税教育推進協議会長賞

身近な税金（医療費）

阿賀野市立 京ヶ瀬中学校 3年 清 田 音 羽 さん

私は今まで税金には興味がありませんでした。ですが、授業で税理士さんの話を聞いててみんなから公平に集めた税金は何に使われているのかが気になりタブレットで調べてみました。

税金は主に医療や社会保障・道路・教育・警察・公的サービスなどに使われてると知りました。私が小さい頃、弟が入院していた時がありました。そのときに負担したお金以外は税金で医療費を払っていたのが分かりました。なので医療費について調べてみました。

私は小さい頃から風邪をひきやすく、よく病院に行っていました。そのとき病院で処方される薬はよく効くので「薬は高く親が全額払っている。」と思っていました。しかし子供の医療費は医療費助成制度によって自己負担が軽減または無料になると知りすばらしい制度だと思いました。私は4人姉弟で小さいころから予防注射をしていました。定期接種は無料で4人分ものお金を払わなくても税が使われていると知りました。身の回りにはたくさんの税が使われていて、税金があるおかげで健康で元気にいられるのだと思いました。

私はこれからの時代、医療はさまざまな進歩と挑戦によって大きく変わっていくと思います。医療技術の発展により病気の早期発見や治療法がさらに進化して効率化されると思います。例えばAIやロボットの普及によって医師の負担が少なくなり多くの方が医療を受けられるようになるかもしれません。また、予防医療や健康管理の重要性が高まり定期的な健康チェックにより重い病気を防ぐことも進んでいます。一方で高齢化社会は医療費増大の可能性もあります。なので政府や社会は福祉や介護の充実を考えながら持続可能な医療制度を作る必要があります。そのためには、国民一人ひとりの健康意識向上などの新しい取り組みが求められると思います。私は、未来の医療制度が誰でも安心して医療を受けられるように、技術の発展と共に公平性や持続性も重視されることを願っています。そうすることで私たちの未来の社会がより健康で元気で幸せなものになると思います。